

9月の参加団体パビリオン&イベント概要

■再生・カレーの森館

ホスト団体名	特定非営利活動法人 ソムニード		
海外パートナー	インド農村総合開発協会 (Integrated Rural Development of Weaker Sections in India (WIDA) /インド)		
パビリオン内容	<p>【カレーを通して知るジャングルの現状とそこで暮らす人々】</p> <p>植民地時代の伐採や独立後の開発で森（ジャングル）を失ったために貧困に陥ったインド山岳民族の生活や、生活の場である森を取り戻すための植林活動などを、皆が大好きな「カレー」を“食”の代表として取り上げ、“食”と“ジャングル”の密接な関係を伝えながら紹介します。</p> <p>カレーの香り漂うパビリオンは、森に生息する動物（模型）やカレースパイスをはじめとした植物を配置した「豊かな森」、山岳少数民族の貧しい現状を村の台所を再現して紹介する「森を失った生活」、山岳少数民族の自立支援のための植林事業などソムニードの活動をパネル等で紹介する「森の再生」という3つのゾーンに分かれており、各ゾーンには楽しく学べるクイズも用意しています。また、コショウやターメリックのスパイスつぶしの体験や、インドの女性が日常で頭にのせて運んでいる水がめの重さを体感できるプログラム等も展開。参加者にはカレーレシピの小冊子を進呈します。</p>		
団体概要	植林事業を中心に、インド・ネパールで自立支援の国際協力をしています。		
	URL	http://www.somneed.org/	

<主なイベント>

◆南インドの村の洗濯

日時：9月1日（木）～23日（金）11:00～15:00 ※1,2日のみ 11:00～20:00

会場：自由の広場

内容：森を失ったために大地（地面）に洗濯物を干すことになった村の洗濯の様子を、インド（女性）の民族服サリー干しの実演を交えて伝えます。
※来場者の参加も可能

◆南インド、今と昔の洗濯体験

日時：9月6日（火）～9日（金）11:00～15:00／会場：自由の広場

内容：森が消え、水場が遠くなった生活の大変さを、インドの洗濯体験を通して学ぶワークショップです。参加者にはビンディ（額につける赤い印）を額につけてもらい、水がめを使った水くみから洗濯石にたたきつけて洗う手法、洗ったサリーを大地（地面）に直接干すまでを体験していただきます。



インドの水汲み(運搬)風景

撮影：長谷川友子

※インドでは、生活に使う水を運ぶのは女性の仕事とされており、4-5歳から手伝いを始め、8歳くらいになると写真のような20リットルもの水が入る水がめを運ぶようになる。

◆スパイスは文字の代わり

日時：9月15日（木）、16日（金）14:00～15:30／会場：ワークショップホール

内容：文字を知らない村人とのコミュニケーション方法を紹介します。参加者は文字の読めない村人に扮し、与えられた家族構成や財産などをスパイスなどの植物を使って表現することで、村全体の生活状況マップを作っていきます。

◆再生・カレーの森祭

日時：9月20日（火）～22日（木）①12:00～13:00、②19:30～20:30／会場：大地の広場

内容：ハートマークに“愛”の文字が書かれたリンゴを来場者に1個ずつ手渡し、大地の広場に設けられた祭壇にお供えしていただきます。また、収穫を感謝する音楽として、インドのシタール&タブラ、日本の尺八奏者によるセッションを披露します。

■エイブル・アート パビリオン

ホスト団体名	財団法人 たんぽぽの家		
海外パートナー	アクセスアーツ (Access Arts Incorporated/オーストラリア)		
パビリオン内容	<p>【美を感じ、魂にふれ、生命を祝いあげる『エイブル・アート』】 「たんぽぽの家」発の市民芸術運動『エイブル・アート』を伝えるプログラムを展開します。 アメリカ、オーストラリア、香港、日本の病院の小児病棟で過ごす子どもたちが撮影した空の写真、自分を笑顔にしてくれるものの写真、そしてそれにまつわる物語をパネルで展示し、“みんな同じ空の下に生きる”“世界は空で一つにつながる”ことへの願いや希望を伝える「世界の空～Sky, Smile, Story 空と笑顔の物語～」や、シンボルフラッグ「大地・空」、パビリオンフラッグ「SUN (太陽)」「MOON (月)」「EARTH (地球)」「WATER (水)」「FIRE (火)」といった自然と人間の関係のサインをみつめるためのオリジナルフラッグを展示する「フラッグアート～風に託す思い～」等を展開。シンボルフラッグの制作では、愛知県の中高生や地球市民村の9月参加NPO/NGOスタッフがベースフラッグを構成しました。</p> <p>また、「世界の空～Sky, Smile, Story 空と笑顔の物語～」の関連プログラムとして、子どもたちから送られてきた空の写真を見ながら、その空の下に広がる街を想像し、積み木でつくる来場者参加型ワークショップ「『空の下の街』をつくろう!」をパビリオン内で開催します。出来上がった“積み木の街”は、写真を送ってくれた子どもたちへの返事として、各病院の子どもたちに贈られる予定です。</p>		
団体概要	障害のある人の芸術表現活動を支援するなど、対話と共生のあり方を提案しています。		
	URL	http://popo.or.jp/	



シンボルフラッグ制作風景



パビリオンフラッグ
※左から「SUN」「WATER」「FIRE」
「EARTH」「MOON」

<主なイベント>


◆サウンドサークル～響きあういのち～

日時：9月7日(水)～11日(日)、16日(金)～23日(金・祝)／7日は15:00～16:00、8日は15:30～17:30
9日は13:30～14:30、10日は15:30～16:30、11・19日は15:00～16:00、16日は13:00～14:00、
17日は14:30～15:30、20・21・22日は14:30～15:30、23日は①12:00～13:00、②15:30～16:30
※18日は実施せず

会場：大地の広場または、ワークショップホール

内容：障害のある人が主体的にアートや文化的な経験にアクセスできるよう設立されたオーストラリアのNPO「アクセスアーツ」がコーディネートするワークショップです。“声”“音”“パフォーマンス”によって創造性を伸ばす、来場者参加型のプログラムです。このワークショップの運営には、障害のある人たち自身が関わっています。

■いただきますの未来館

ホスト団体名	日本国際飢餓対策機構		
国内パートナー	世界食糧デー名古屋大会実行委員会		
海外パートナー	国際飢餓対策機構 (Food for the Hungry International (FHI) /バンコクに国際サービス・センター)		
パビリオン内容	<p>【日常生活の中に見る現状ライフスタイルの問題点】</p> <p>テーマは「こころの飢餓とからだの飢餓」。“みんなが食べられる世界”を実現するには、目に見える援助のみならず、他者の痛みを見てみぬふりをするのではなく、自分にしてほしいことを隣人にもしていく「善隣共生」の生き方が必要であることを、「南君」「物知りとうもろこし君」というキャラクターが展示や体験プログラムを通して伝えます。</p> <p>パビリオンの中は、南君の家のリビングをイメージして構成されています。ダンボール素材で作った本物そっくりの冷蔵庫やテレビ、キッチンなどを配置し、生活の一コマから現状のライフスタイルの問題点を知っていただきます。また、壁一面を使って展開する「美しい世界づくり」プロジェクトでは、既に壁に描かれている飢餓と貧困、争いに苦しむ「現在の世界」のイラストの上に、“飢餓のない世界をつくっていきたい”と願う思いを3cm四方の小さな色紙に託して、来場者にモザイク状に貼っていただきます。1万人の思いが集まった時、「美しい世界」が完成します。</p>		
			
	<p>パビリオンの案内役「南君」と「物知りとうもろこし君」</p>		
団体概要	世界約50カ国で物心両面の飢餓に応え、人々の自立に協力しています。		
	URL	http://jifh.fhi.net/	

<主なイベント>

◆63億人の食卓

日時：9月1日(木)～23日(金・祝) ①11:00～、②12:00～、③13:00～、④14:00～、⑤15:00～、⑥16:00～
 毎回各30分 ※7日は①②のみ／10日は11:30～、12:30～の2回／15・16日は①②③のみ／
 17日は①②のみ／20・21・22日は①③④⑤⑥のみ／23日は15:30～、16:30～、17:30～の3回／
 3・4・11・18日は実施せず

会場：ワークショップホール

内容：「自分の周りにはたくさんの食べ物があるのに、なぜ世界には食べられない人がいるの？」という疑問に答える参加者体感型ワークショップです。本物のパンを使いながら「世界の食糧事情がいかにかアンバランスなものになっているか」「どうしたら世界中の人が食べられる社会になるのか」等について楽しく学びながら考えます。

◆歌は世界をむすぶ

日時：9月5日(月)、7日(水)～9日(金)、12日(月)～15日(木)、20日(火)～22日(木) 18:30～19:15

会場：大地の広場

内容：名古屋二期会の方々を中心に日替わりでゲストを招き、各国のさまざまな歌を紹介しながら、歌で世界をつなぎます。本格的な声楽の夕べをお楽しみいただけます。

出演者：伊藤美知子氏(5日)、山本みよ子氏(7日)、三輪弘美氏(8日)、森本ふみ子氏(9日)、山口雅子氏(12日)、菅沼綾子氏(13日)、貞平純子氏(14日)、谷上節子 with MiA(15日)、橋爪圭子氏(20日)、大野憲一氏(21日)、水谷映美氏(22日)

◆ミュージカル「ゴンドールのやさしい光」

日時：9月19日(月・祝) ①13:00～、②14:00～、③16:30～／23日(金・祝) 時間未定

会場：大地の広場

内容：大阪に拠点を置く劇団「ミュージカル☆SHOW-COMPANY」が、エチオピアであった実話「ゴンドールのやさしい光」を題材に、愛・夢・勇気に溢れた美しい生命の世界を描きます。

■日中韓・環境見聞館

ホスト団体名	東アジア環境情報発信所		
海外パートナー	韓国環境運動連合（韓国）、緑色北京（中国）		
パビリオン内容	<p>【環境問題について自ら情報を発信する“環境メッセンジャー”】</p> <p>コンセプトは、“君も環境メッセンジャー！”。より良い環境で暮らすための色々な情報を共有・発信する“環境メッセンジャー”になるためのさまざまなプログラムを体験していただきます。</p> <p>パビリオン内は、日中韓の環境に関する“驚き”の情報を紹介する「“おどろ木”を育てよう！」、日中韓の環境問題の現場を取り上げた映像を放映し、環境への熱き想いを感じていただく「東アジア環境映像劇場」、東アジアの環境問題をニュース番組で紹介し、内容に関連したクイズに挑戦する「東アジア環境ニュースステーション」、街の人たちに聞いた環境に関する意見の内容を当てる「クイズ！約100人に聞きました」、東アジアで絶滅の危機にある野生動物（ぬいぐるみや模型）と記念写真が撮れる「滅びゆく東アジアの仲間たち」、パビリオンで気づいた環境に関するメッセージを来場者に書いていただき、それらを集めて1つの大きな動物をつくり上げる「私も環境メッセンジャー」、来場の記念品となるペンダントづくりを行える「メッセージペンダント」と、バラエティに富んだプログラムを展開します。また、“環境メッセンジャー”を目指す来場者を対象に、これらのプログラムをツアー形式で体験いただく「環境メッセンジャー！誕生」も毎日開催しています。</p>		
団体概要	日中韓のNGOがネットの情報発信を通じて環境協力を推進しています。		
	URL	http://www.eden-j.org/	

韓国での環境運動の1コマ
(eden-press)



<主なイベント>

◆中国・韓国の環境NGOがみた「愛知万博」

日時：9月4日（日）19:00～21:00

会場：交流ホール

内容：愛・地球博を見学した「緑色北京」（中国）、「韓国環境運動連合」（韓国）など、中韓の環境NGOスタッフが、次回の国際博覧会が開催される上海に、愛知で得た経験を伝えるため、万博を見た感想などを話し合う意見交換会を行います。

◆大地に響けアジアの音～よさこいアリラン～

日時：9月11日（日）①11:00～12:00、②17:00～18:00

会場：大地の広場

内容：在日コリアンの若者と踊りが好きな日本の青年が中心となって、自らのアイデンティティや国境を越えた友好の可能性を、日本の「よさこい」と古くから朝鮮半島に伝わる伝統舞踊「アリラン」を融合させた踊り“よさこいアリラン”で表現します。

◆大地に響けアジアの鼓動～茉莉花二胡合奏団～

日時：9月23日（金・祝）①11:00～11:30、②17:00～17:30

会場：大地の広場

内容：地元愛知の茉莉花二胡合奏団や、包金鐘（テノール歌手）、王芳（ソプラノ歌手）などを迎えてのコンサートを行います。「世界に一つだけの花」「翼をください」（二胡）、「オーソレミヨ」（歌）等の楽曲をお届けするほか、烏蘭牧騎歌舞団によるモンゴルダンスも披露します。

■まちに地みどり館

ホスト団体名	特定非営利活動法人 NPO birth (バース)		
国内パートナー	NPO 法人 畑の教室 (東京)、NPO 法人 むさしの里山研究会 (埼玉)、足立グリーンプロジェクト (東京)、環音 (愛知)		
海外パートナー	サンフランシスコ市民のための公園協議会 (SF Neighborhood Parks Council (NPC) / 米国)、持続可能な農業教育センター (Sustainable Agriculture Education (SAGE) / 米国)、アース・ハウス (Earth House / 米国)		
パビリオン内容	<p>【自然の守り神「シードロ」を通して身近な自然について考える】</p> <p>「身近なみどり (自然) って、いいな」と感じてもらい、「まちにみどりを増やすために、わたしにできることはなんだろう？」を考え、実践するプログラムを展開します。パビリオン内では、下記のワークショップを毎日開催します。</p> <p><u>みどりの妖怪シードロ工房</u>…種と粘土で、自然の守り神「シードロ」をつくります。自然のことを思いながら、粘土人形をつくり、種をつけて、出来上がり。持って帰って、土のあるところに埋めておくと、芽が出ます。シードロとは、シード (種) とドロ (粘土) という意味です。</p> <div data-bbox="874 667 1393 842" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">みどりの妖怪シードロ</p> <p><u>身近なみどりのプチ体験ツアー</u>…身近なみどりの素晴らしさを再発見するスタンブラー形式のツアー。葉っぱに自然へのメッセージを書くコーナーもあります。スタンプを集めると、「地みどりハンドブック」がもらえます。</p>		
団体概要	「まちの緑」をテーマとし、誰もが身近に自然とふれあえる暮らしの創造を目指しています。		
		URL	http://npo-birth.org/

<主なイベント>

◆風と大地のコンサート

日時：9月4日(日)17:00~18:00、6日(火)14:00~15:00、11日(日)13:00~14:00、18日(日)13:00~15:30、23日(金・祝)13:30~14:45 / 会場：大地の広場

内容：自然の響きを感じてもらうためのライブコンサート。4・11・23日は音楽ネットワーク「環音(わおん)」代表の広田奈津子氏、小向定氏、鈴木きよし氏、6日はムビラトロン(ビブラストーン)のOTO+ジンバブエの民族楽器ムビラ奏者の小池龍一のユニット)と舞踏家の伊藤虹氏、18日は環音ネットワーク(総勢約20名の地元の音楽ユニット)、和太鼓グループ「夏菟太鼓(なつかりだいこ)」ほか、海外ゲスト等を迎えてのコンサートを行います。

◆地みどりミニライブ

日時：9月5日(月)・9日(金)・12日(月)~14日(水)15:30~16:00 / 15日(木)・16日(金)16:00~17:00

会場：大地の広場

内容：身近な自然や暮らしの楽しさを唄うミニコンサートを行います。

◆写真展「大地とともに」~直井保彦×大塚敦子~

日時：9月12日(月)~19日(月・祝)9:00~21:00 ※16日のみ9:00~17:00

会場：交流ホール

内容：大地から生まれ、大地に還るわたしたち。この写真展では、“東ティモール”“米国”という文化も生活も大きく異なる二つの国の人々の素顔から、大地とともに生きる大切さを伝えます。

◆地みどりトークショー&ワークショップ

日時：9月19日(月・祝)~22日(木)15:00~17:00 ※19日のみ13:00~17:00 / 会場：交流ホール

内容：「地みどり」を増やすことを目的に活動する国内外のパートナー団体によるトークショー。GIS(地理情報システム)を活用し、日本とアメリカを仮想旅行しながら各地の活動を紹介します(予定)。また、参加者とゲストが「住みたいまちはどんな街?」「あなたのまちにみどりを増やすためにできること」等のテーマに沿って、絵を描くワークショップを開催します。

地球市民村およびパートナーシップ企業・団体主催の主なイベント

◆大学生環境意識調査～わたしたちの今と未来～（損保ジャパン）

日時：9月1日（木）～4日（日）各日 11:00～18:00／会場：交流ホール

内容：大学生の手による大学生を対象とした環境意識調査の結果から見えてきたことを展示とイベントで紹介しします。また、自分の環境意識度が分かる「エコ人チェックゲーム」等も行います。

◆地球の夢 トーク&ライブ「地球の夢～持続可能な社会に向けて～」

日時：9月3日（土）①13:00～15:00、②17:00～19:00／会場：大地の広場

内容：「スローイズビューティフルライフ」著者の辻信一氏、屋久島在住で作家・翻訳家の星川淳氏によるトークショーと、シンガー・ソングライターの NUU（ぬう）によるライブを行います。

◆地球市民村 総まとめシンポジウム VOL.1「愛・地球博の市民参加事業をふりかえる」

日時：9月4日（日）13:30～17:00／会場：交流ホール

内容：愛・地球博の大きな柱のひとつだった「市民参加事業」が“実際はどうだったのか？”を振り返り、その意義や課題などを、各市民参加事業関係者等を招いて話し合います。

◆地球市民村 総まとめシンポジウム VOL.2「地球市民村から生まれた持続可能性への学び」

日時：9月10日（土）13:30～17:00／会場：交流ホール

内容：「国連・持続可能な開発のための教育の10年」を具現化したプログラムを展開しているといっても過言ではない「地球市民村」から生まれた「持続可能性への学び」を、愛知教育大学の学生のレポートを交えながら伝え、「地球市民村」から「教育の10年」に繋がります。

◆リンナイ・ウィークエンドトークショー「人と自然の柔らかな関係」

日時：9月10日（土）／11:30～ 13:30～ ／会場：交流ホール（11:30）大地の広場（13:30）

ゲスト中嶋朋子さん（女優）

内容：雄大な北海道の自然に触れる内に中嶋さんの中に育っていったものは…。人が自然から受けているはずの様々な恩恵。そんな当たり前のことを中嶋さん自身のセンス・オブ・ワンダー体験によるトークが思い出させてくれます。（写真右）



◆リンナイ・ウィークエンド料理教室

日時：9月11日（日）11:30～ 13:30～ 15:30～／会場：交流ホール／講師：美上みづ子

内容：マクロビオティック基礎にした、自然食メニューのレシピを紹介。今回は「やきそば」がテーマです。

◆地球市民村 総まとめシンポジウム VOL.3「愛知万博における NPO/NGO の役割」

日時：9月18日（日）13:30～17:00／会場：交流ホール

内容：愛知万博そして NGO が集った地球市民村が実現するには、過去様々な NPO/NGO の関わりがありました。今後の NPO/NGO の社会の役割を考える上でも、愛・地球博における NPO/NGO の様々な役割を検証します。

◆Global Lounge Vol.5「村祭」

日時：9月17日（土）18:30～20:30／会場：大地の広場

内容：愛・地球博公式 FM 局「FM LOVEARTH」と地球市民村のコラボレーション“DJ ナイト”第5弾。絶大な人気を誇るバンド「Big Frog」が出演し、会場を盛り上げます。

◆フルムーンコンサート「しおのみち」

日時：9月18日（日）17:30～19:30／会場：大地の広場

内容：満月の宵に、毎月ゲストを招いて行うコンサート。最終回となる9月は、アイヌ・トンコリ奏者の OKI 率いる OKI DUB AINU BAND を迎え、民族楽器の調べをお楽しみいただきます。

◆キャンドルナイト@ 地球市民村

日時 9月23日（金・祝）18:00～21:00／会場：大地の広場

内容：9月の参加5団体が総力を挙げ、それぞれの得意とする催事のリレーで大地の広場を盛り上げます。夜は、夏至の日にご好評だったキャンドルナイトを秋分の日バージョンとして実施します。

◆れあるファミリースクール

日時：・ドリーム教室：9月23日（金・祝）・24日（土）13:00～17:00／会場：交流ホール
・子どもフォーラム：9月25日（日）15:00～16:30／会場：交流ホール

内容：「ドリーム教室」では、4月から8月までに実施した「れあるファミリースクール」で好評だったワークショップ（宇宙服の着用体験、連鶴づくり他）や世界の遊び体験を実施します。
「子どもフォーラム」は、世界五大陸を訪問してきた子ども特派員やジョン・ギャスライト氏を交えたミニトーク、クイズなどを行う、子どもたちによる“かけがえのない地球を残すため”のフォーラムです。

◆地球市民村「地球の夢」前夜祭

日時：9月24日（土）時間未定／会場：地球市民村

内容：これまで参加したNPO／NGOが地球市民村に一堂に会します。地球市民村でのこれまでの関わりを振り返り、未来への可能性を発信します。夕方からのコンサートでは歌や踊りで大いに盛り上がります。（出演予定：山根麻衣ユニット）

◆「地球の夢」ファイナルコンサート

日時：9月25日（日）時間未定／会場：大地の広場

内容：和太鼓集団 鬼太鼓座や「しおのみち」プロデューサー真砂秀朗氏のユニット「真南風」が出演します。バンブーオーケストラによるワークショップで来場者の方々と制作した竹の楽器を使ってのコンサートも開催します。また3・4月参加団体「ウタリ協会」が設置したイナウ（アイヌの宗教儀礼に用いる木製の幣帛^{へいはく}）をしまう儀式も行います。